

(10) 県産材の安定供給体制の整備について

想定課題

国会等移転に伴って予想される住宅建設等木材需要の増大は、本県の林家の安定的経営に寄与することになると思われるが、その方策はどうあるべきか。

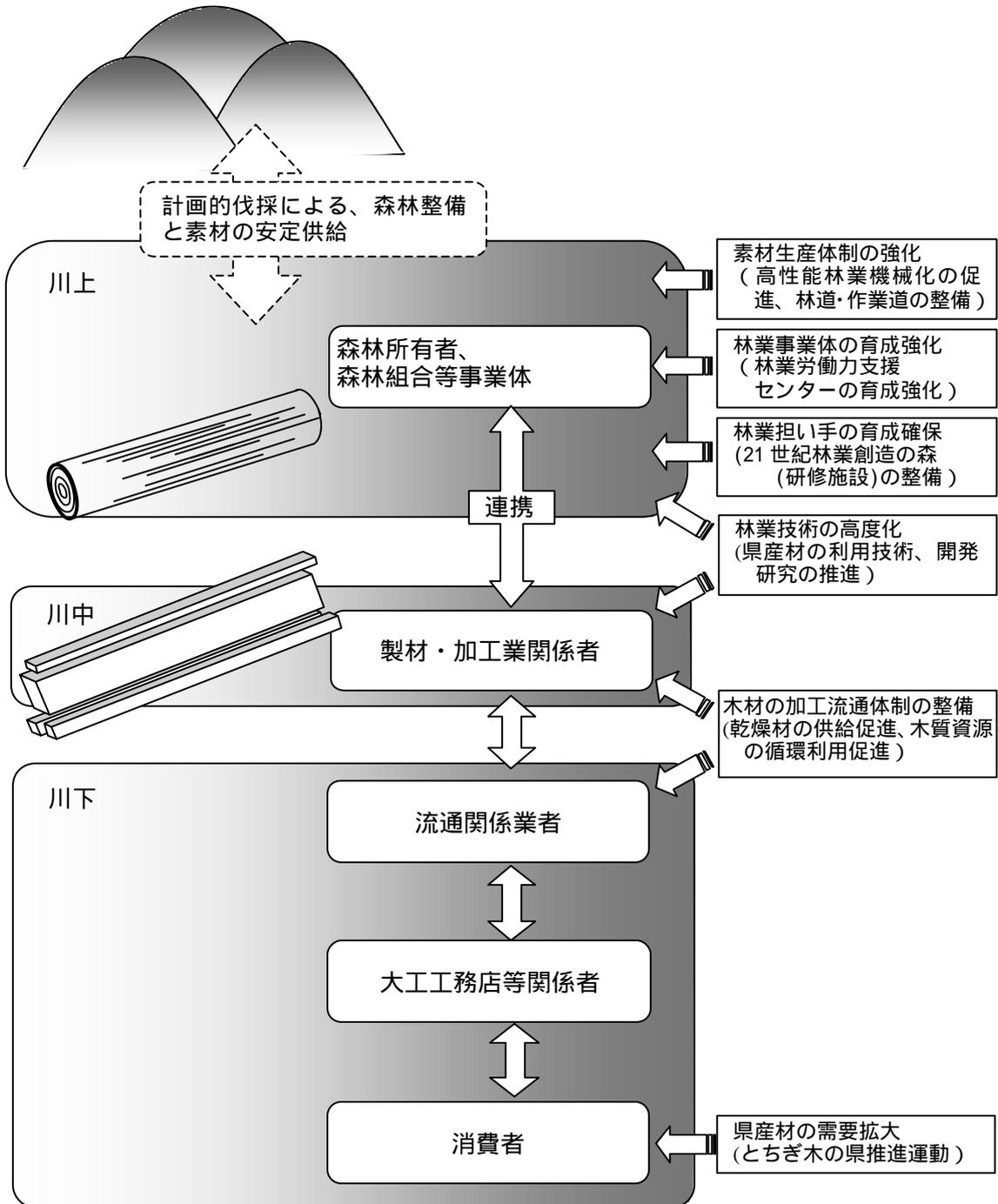
対応方向

新たな都市建設にあたっては、住宅をはじめ、関連公共施設等の建設に伴いどの程度の木材需要が発生するのか、時系列的需要見込みを立てる必要がある、その需要見込みに基づき、本県の森林を荒廃させることなく、安定的な木材の供給を可能にするための体制整備が必要です。

具体的には、住宅等建設に必要な木材の安定的な供給を可能にするため、計画的伐採の推進や林道等の生産基盤の整備の推進、素材生産事業体の育成、製材工場の近代化、製材品高度加工施設の整備など川上から川下にいたる木材の生産・加工・流通体制を計画的に整備する必要があります。

また、21世紀の都市づくりは、環境への負荷を最小限にするような手法が望まれることから、新都市の建築物は木材を活用したぬくもりのあるものとなるよう、積極的に提案していくことも必要と思われます。

流域管理システムイメージ図 (森林整備と木材の安定供給のための体制づくり)



[資料] とちぎ21世紀プラン (栃木県総合計画)